

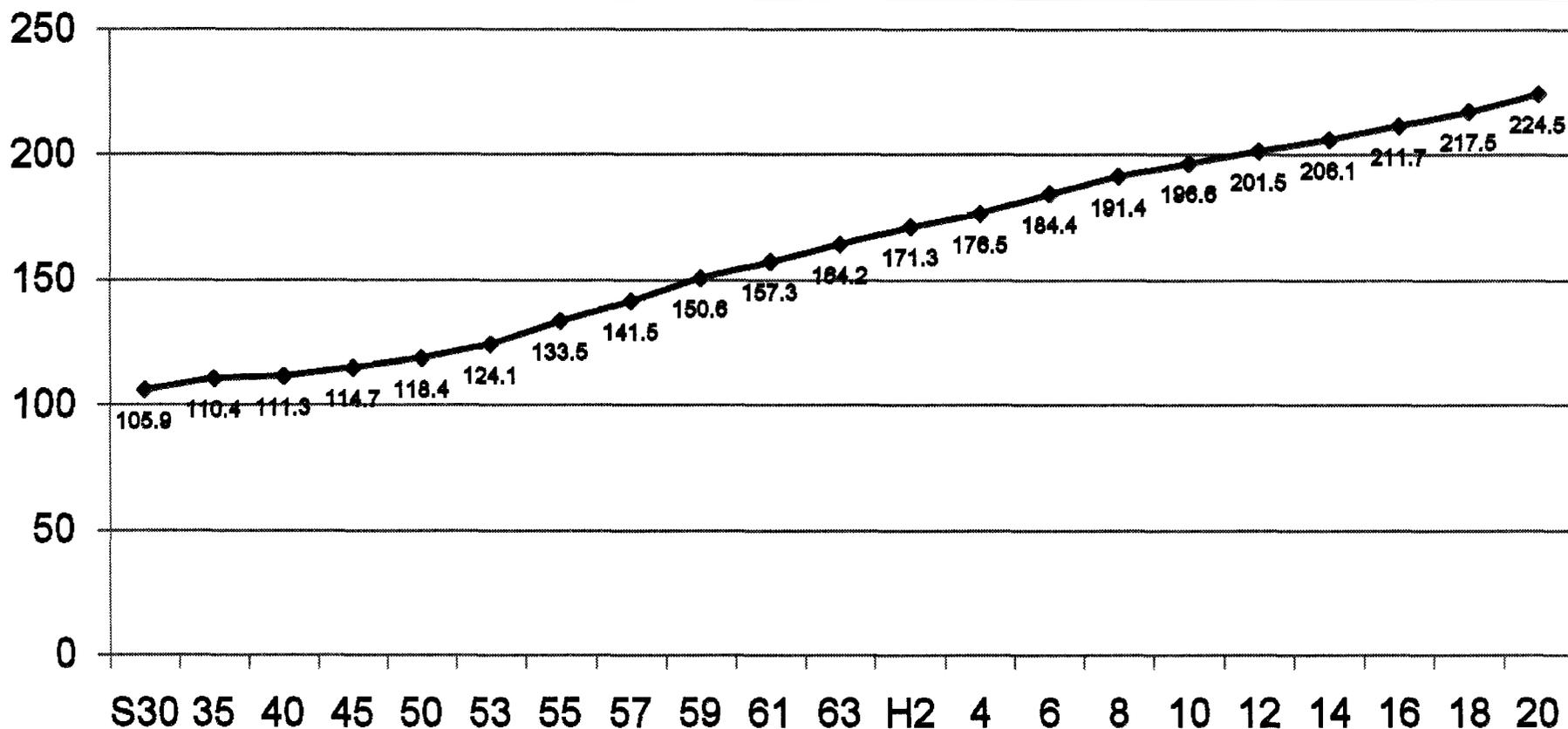
## 資料 (Ⅱ)

# 総務課

# 1. 医師確保対策について

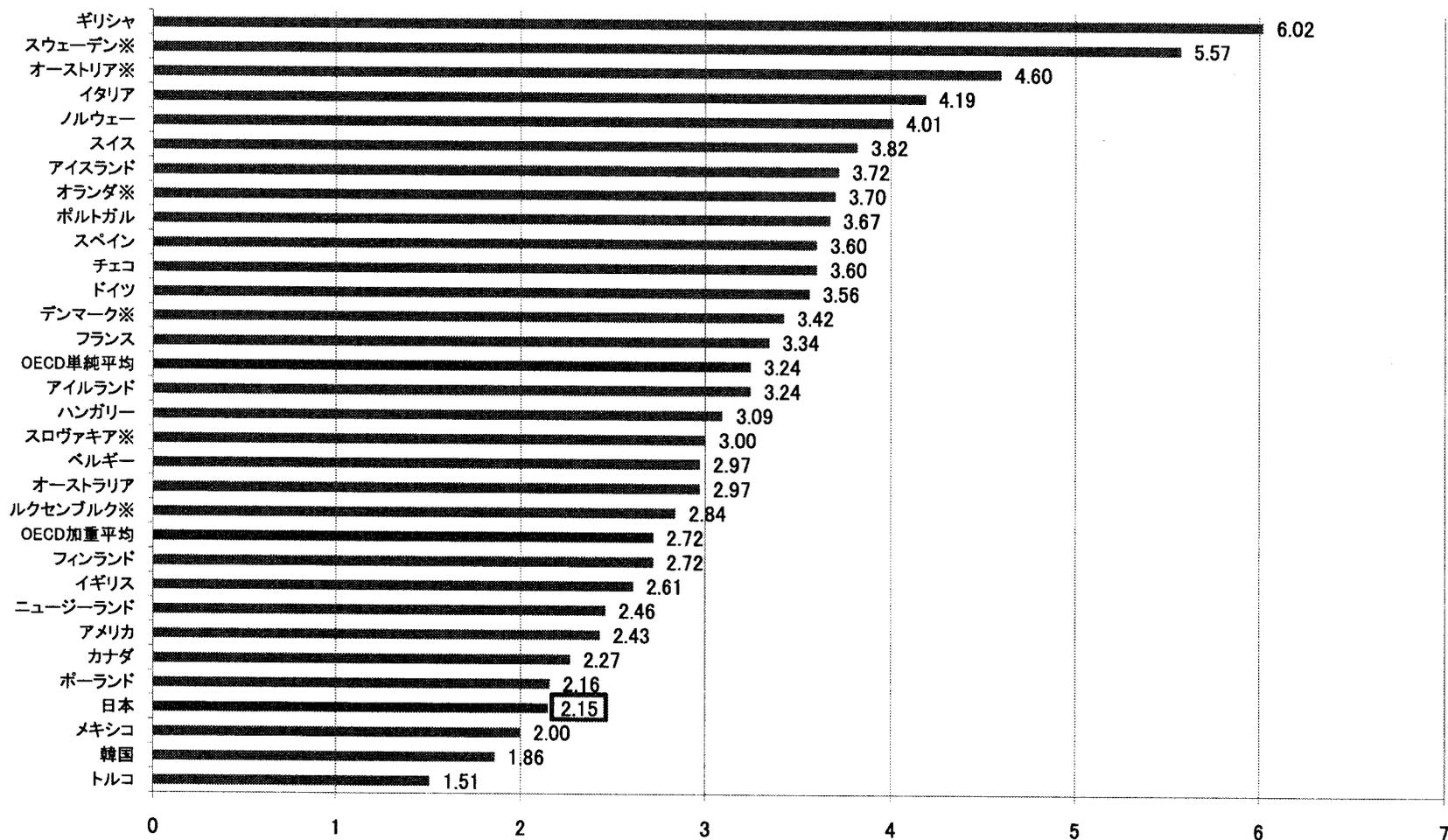
## 人口10万対医師数の年次推移

○ 近年、医師国家試験の合格者は毎年7,600～7,700人程度であり、死亡等を除いても、医師数は、毎年3,500～4,500人程度増加。  
(医師数) 平成10年 24.9万人 → 平成20年 28.7万人 (注) 従事医師数は、27.2万人



(出典)医師・歯科医師・薬剤師調査

# 人口1000人当たり臨床医数の国際比較(2008年(平成20年))



※は2007年

注1 単純平均とは、各国の人口当たり医師数の合計を国数で割った数のこと。

注2 加重平均とは、全医師数を全人口で割った数のこと。

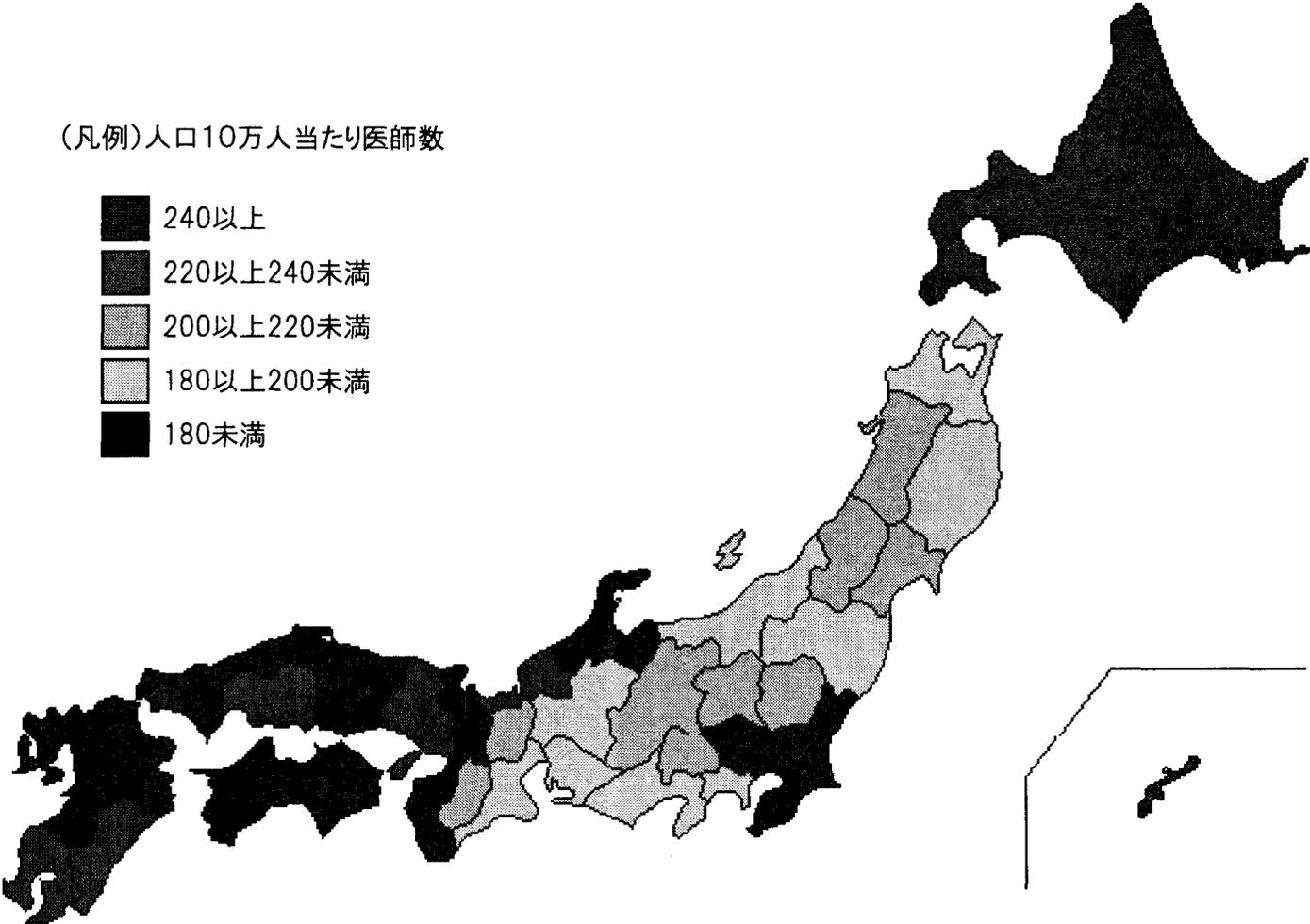
注3 カナダ・フランス・ギリシャ・イタリア・トルコは現職医師数を、アイルランド・オランダ・ポルトガル・スウェーデンは総医師数を用いている。

OECD Health Data2010より

# 人口10万人当たり医師数の分布(平成20年)

(凡例)人口10万人当たり医師数

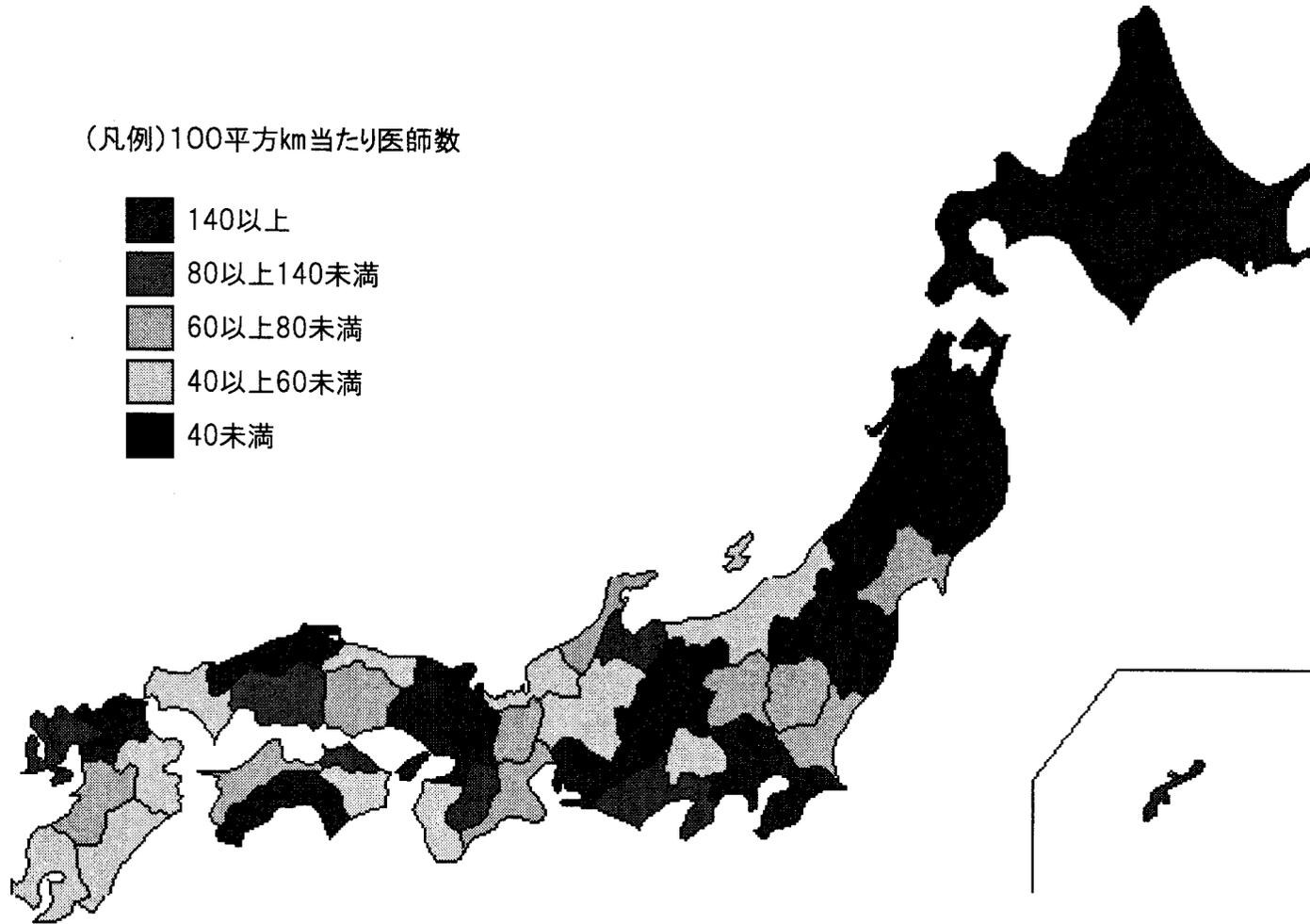
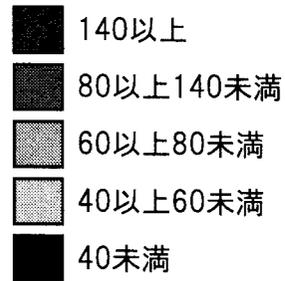
- 240以上
- 220以上240未満
- 200以上220未満
- 180以上200未満
- 180未満



(出典)医師・歯科医師・薬剤師調査

# 100平方km当たり医師数の分布(平成20年)

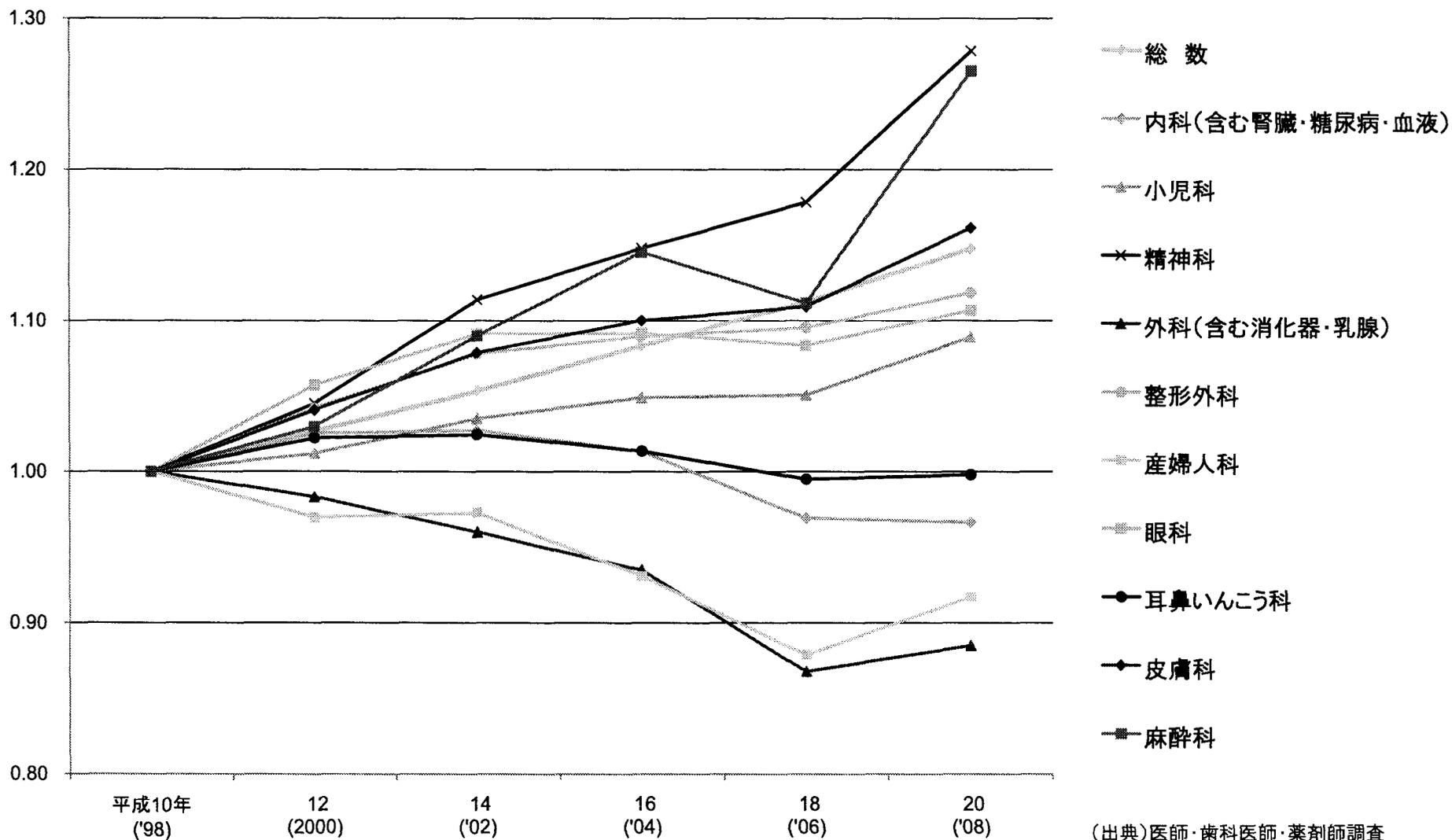
(凡例)100平方km当たり医師数



(出典)医師・歯科医師・薬剤師調査

# 診療科別医師数の推移(平成10年を1.0とした場合)

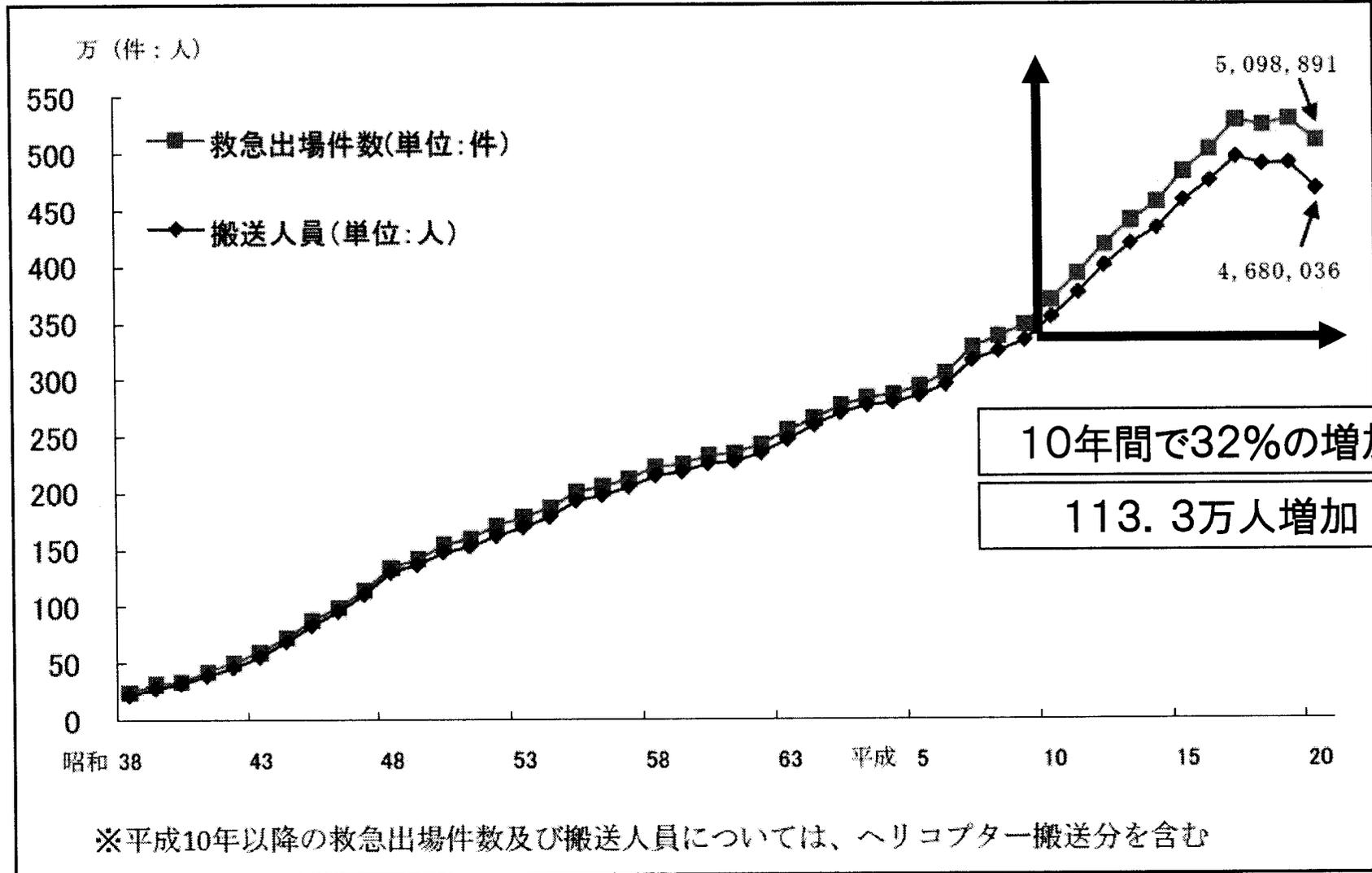
- 多くの診療科で増加傾向。
- 外科、産婦人科は減少傾向にあったが、平成20年に増加に転じた。



(出典)医師・歯科医師・薬剤師調査

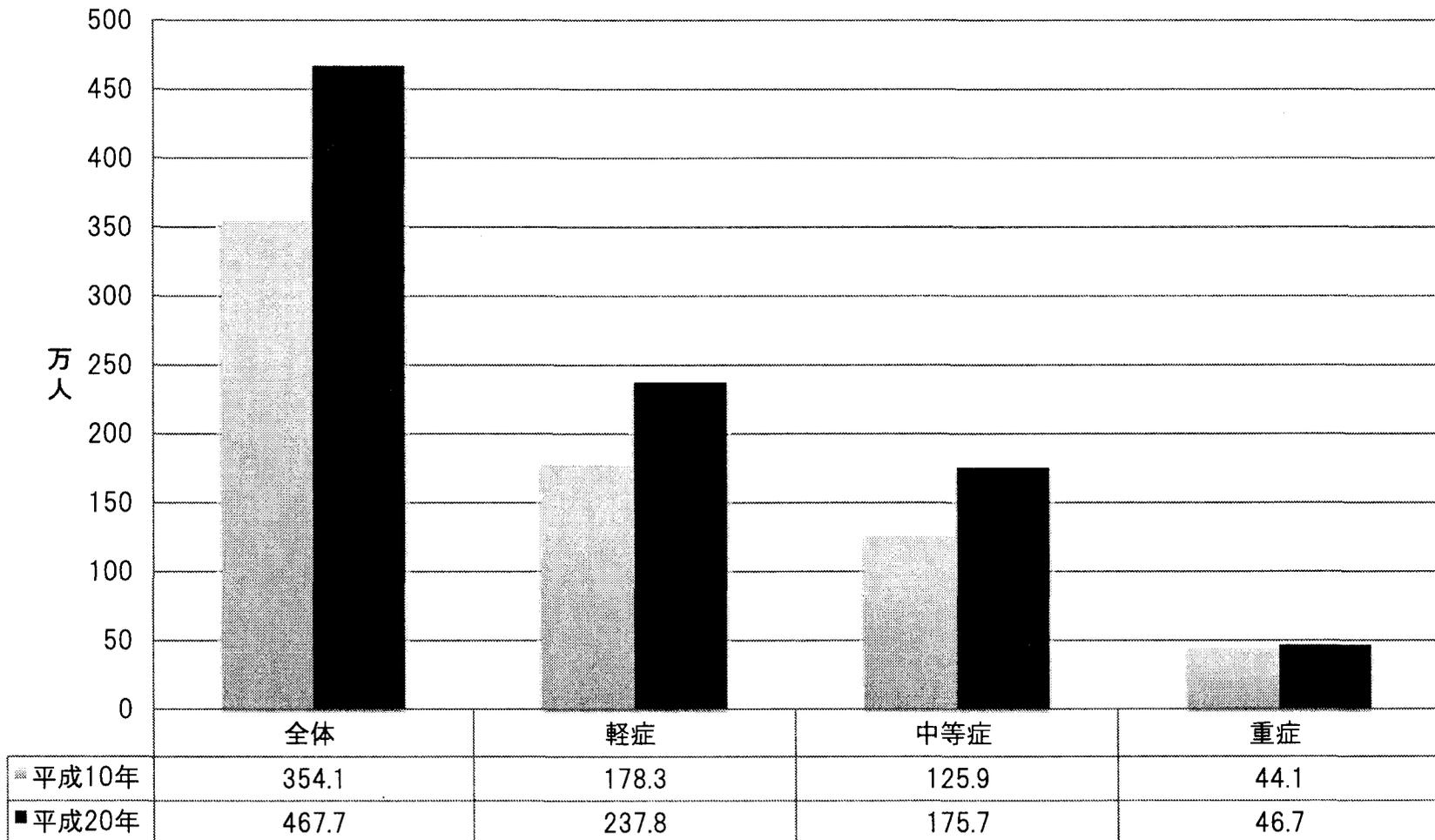
# 救急出動件数及び搬送人員の推移

○ 救急出動件数及び搬送人員数ともに、10年間で急増。



# 過去10年間の急病による救急搬送人員の変化(重症度別)

○ 10年間の変化はほぼ、軽症者・中等症者の搬送人員増によるものである。



「救急・救助の現況」(総務省消防庁)のデータを基に分析したもの